

患者さんパンフレット

四国がんセンター
消化器内科



上部消化管（胃・食道）ESDを 受けられる方へ

さま

担当医

受け持ち看護師

2003年3月1日 作成
2026年2月18日 改訂

私たち医療スタッフは

- 1 入院や治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- 2 治療後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約1週間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院日（入院～治療前日）
月 日 ～ 月 日



今日の目標

- 入院、治療について医療スタッフの説明が理解できる
- 治療の準備をすすめることができる

<時間>

<予定>

	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 • 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
12:00	昼食	• 検温、血圧測定、身体測定 • 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り • 禁煙の確認 • 歯科受診 • 血液検査、尿検査 • 治療の予定説明 • シャワー浴をしましょう
		<お薬> • 他の病院で処方されたお薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします • 薬剤師から治療後に内服する薬について説明があります
18:00	夕食	• 治療前日の21時以降は飲んだり、食べたりしないように しましょう
21:30	消灯	治療後、栄養士から 退院後の食事について説明があります 自宅で食事を作られる方と 一緒に説明を受けることができる 日時を教えてください

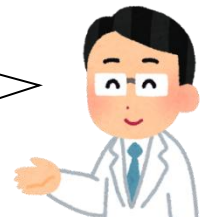


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

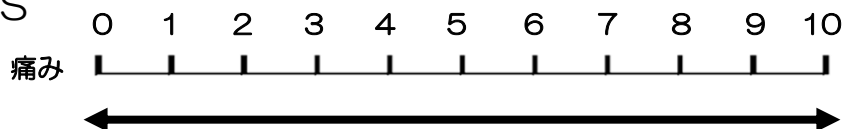
- 安心して入院生活を送れるように支援します
- 治療への不安が軽減できるように支援します



手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



0

痛みがない



1

少しだけ
痛い



2

もう少し
痛い



3

もっと
痛い



4

かなり
痛い



5

もっとも
痛い

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



今日の目標

- 痛みがあれば、医療スタッフへ知らせることができる
- 吐き気がない
- お腹が張って苦しい感じがない
- 水薬内服の必要性について理解できる

<時間>

<予定>

治療終了後

治療後内視鏡室で医師から治療について説明があります

車椅子で病室へ戻ります
検温、血圧測定

治療1時間後

検温、血圧測定
水薬

- 痛みが強いときや気分が悪いときは、すぐに看護師へお知らせください
- 治療後から夜間まで点滴500mlを2本行います
20時に胃酸を抑える点滴をします
- 治療の影響で眠気が残っていることがあるので、トイレに行くときは看護師と一緒にいきましょう
- 本日は**絶飲食**です
水薬以外は飲んだり食べたりできません
うがいは可能です

14:00

検温、血圧測定

17:00

水薬

21:30

検温、血圧測定
消灯

22:00

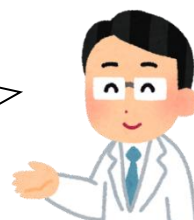
水薬

起き上がるときは、
お腹に力が加わらないように
ベッドのリクライニングを
使用しましょう



医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- 病棟内で安静に過ごすことができる
- 痛みがあれば、医療スタッフへ知らせることができる
- 吐き気がない
- お腹が張って苦しい感じがない

<時間>	<予定>
6:00	起床、検温、血圧測定
8:00	点滴 血液検査
9:00	水薬
10:00	検温、血圧測定 体を拭いて着替えましょう
13:00	水薬
14:00	検温、血圧測定
17:00	水薬
19:00	検温、血圧測定
20:00	点滴
21:30	消灯

- 痛みが強いときや気分が悪いときは、すぐに看護師へお知らせください
- 8時から就寝頃まで点滴を行います
8時、20時に胃酸を抑える点滴をします
- 本日も**絶飲食**です
水薬以外は、飲んだり食べたりできません
うがいはできます
- 病棟内の歩行は可能ですが、なるべく安静にして過ごしましょう
- 便の色を確認しましょう
黒い便が出たときは、流さずに看護師にお知らせください
- 治療部位の確認のため、朝、内視鏡の検査を行うことがあります

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- 食事摂取ができる
- 薬の自己管理ができる
- 痛みがない、吐き気がない
- お腹が張って苦しい感じがない

<時間>

<予定>

6:00	起床、検温、血圧測定
7:00	回診 食前の内服
7:30	朝食（流動食） 食後の内服
10:00	点滴 検温、血圧測定
11:30	食前の内服
12:00	昼食（流動食） 点滴終了後 シャワー浴ができます
17:30	食前の内服
18:00	夕食（流動食）
19:00	検温、血圧測定 眠前の内服（胃ESDの方のみ）
21:30	消灯

- 本日より朝から食事が始まります
※病院食以外は、食べないようにしましょう
- 胃薬の内服があります
〔胃ESDの方：毎食前、朝食後、眠前〕
〔食道ESDの方：毎食前、朝食後〕
- 治療のために休んでいた薬は、医師の指示があれば再開になります
- 10時から500mlの点滴が2本あります
夕方頃まで行います
- 体調に合わせてシャワー浴も行えます
- 病院内の歩行に制限はありません

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- 食事摂取ができる
- 薬の自己管理ができる
- 痛みがない、吐き気がない
- お腹が張って苦しい感じがない

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定
7:00	食前の内服
7:30	朝食（5分粥） 食後の内服
10:00	点滴 検温、血圧測定
11:30	食前の内服
12:00	昼食（5分粥） 点滴終了 シャワー浴ができます
17:30	食前の内服
18:00	夕食（5分粥）
19:00	検温、血圧測定 眠前の内服 （胃ESDの方のみ）
21:30	消灯

- 胃薬の内服があります
（胃ESDの方：毎食前、朝食後、眠前）
（食道ESDの方：毎食前、朝食後）
- 10時から500mlの点滴が1本あります
点滴は本日で終了です

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 薬の自己管理ができる

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定
7:00	食前の内服
7:30	朝食（5分粥） 食後の内服
10:00	検温、血圧測定
11:30	食前の内服
12:00	昼食（5分粥）
	シャワー浴ができます
17:30	食前の内服
18:00	夕食（5分粥）
19:00	検温、血圧測定
21:00	眠前の内服 （胃ESDの方のみ）
21:30	消灯

• 胃薬の内服があります

（胃ESDの方：毎食前、朝食後、眠前）
（食道ESDの方：毎食前、朝食後）

退院日が決まったら
看護師から退院後の日常生活、
外来受診について説明をします



医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します





今日の目標

- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 薬の自己管理ができる

<時間>

<予定>

6:00 起床

7:00 食前の内服

7:30 朝食（5分粥）
食後の内服

10:00 検温、血圧測定

11:30 食前の内服

12:00 昼食（5分粥）

シャワー浴ができます

17:30 食前の内服

18:00 夕食（5分粥）

21:00 眠前の内服
（胃ESDの方のみ）

21:30 消灯

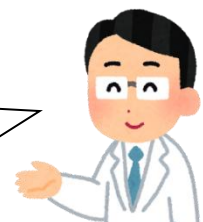
- 胃薬の内服があります
（胃ESDの方：毎食前、朝食後、眠前）
（食道ESDの方：毎食前、朝食後）

退院日が決まったら
看護師から退院後の日常生活、
外来受診について説明をします



医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・薬の自己管理ができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:00

食前の内服

7:30

朝食（全粥）
食後の内服

- ・胃薬の内服があります
（胃ESDの方：毎食前、朝食後、眠前）
（食道ESDの方：毎食前、朝食後）
- ・体調に応じて、食事の形態が変わります
治療後8日目～軟飯

10:00

検温、血圧測定

11:30

食前の内服

12:00

昼食（全粥）

退院日が決まったら
看護師から退院後の日常生活、
外来受診について説明をします

シャワー浴ができます



17:30

食前の内服

18:00

夕食（全粥）

21:00

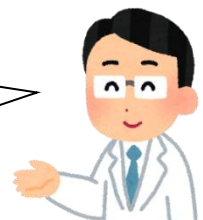
眠前の内服
（胃ESDの方のみ）

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・合併症の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:00

食前の内服

7:30

朝食（全粥～軟飯）
食後の内服

次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

次回外来受診は

月 日（ ）時の予定です

外来で病理組織の結果を説明します

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院後の日常生活について

ポリープや腫瘍を取った後の粘膜には、人工的な潰瘍ができています
自然に治っていきませんが、退院後間もない頃は、ごくまれに潰瘍から出血することがありますので、以下のことに気をつけて生活しましょう

●食事

1週間ほどは消化のよい物を取りましょう
またよく噛んで食べましょう
辛いもの、ニンニクなどの刺激物はさげましょう
コーヒーなども1週間は飲まないほうがよいでしょう



次回外来まで禁酒を守ってください
過度の飲酒は、潰瘍の治りを遅くします
また血行がよくなるために潰瘍からの出血を促す危険があります
飲酒は外来受診時、医師に相談してください

※詳しくは、栄養士から退院後の食事についてお話がありますので参考にしてください

●排便

退院後もしばらくは便を観察してください
黒っぽい便が大量に見られるときは、早めに受診してください

●喫煙

次回の外来まで禁煙を守ってください
喫煙は外来受診時、医師に相談してください



●活動

激しい運動は避けましょう
散歩など軽めの運動から始めましょう

車の運転は、基本的には支障ありません
しかし長時間の運転は避けるほうが望ましいでしょう

●入浴

長く湯に浸かっていると、血行がよくなり出血を促すことがあります
次回外来まで、湯に浸かるのは、約15分以内にしましょう



●仕事

力仕事でなければ、支障ありません

重いもの（約5kg以上）を持つ重労働の場合には、お腹に力が入ります
それがきっかけで潰瘍から出血したといったことも大変まれですがあります
力仕事は次回外来まで避けたほうがよいでしょう

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりにお飲みください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



- 急激な痛みがあるとき
- 吐血をするとき
- 黒い便が出るとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土、日、祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



上部消化管（胃・食道）ESDを受けられる方へ